

2019年度

# 活動報告書

千葉大学 総合学生支援センター『ふれあいの環』



# 2019年度 活動年表

年	月	日	内容	
2019年	4月	1～5日	留学生入寮手伝い	
		2～4日	新入生サポート会を開催	
		5日	入学式	
		6,9日	6団体合同説明会を開催	
		12日	Welcome Party を開催	
	5月	20,21日	マンスリーウィークエンドに参加	
		11,12日	マンスリーウィークエンドに参加	
	6月	24,25日	富岡運動会を支援	
		14日	6団体交流会を実施	
		15,16日	マンスリーウィークエンドに参加	
	7月	27日	第55回 Universal Festival を開催	
		1日	ボランティア報告会&カタリベカフェを開催	
		2～8日	七夕ウィークを開催	
	8月	21日	暑中見舞いプロジェクトを実施	
		28,29日	研修合宿を実施	
	9月	11日	キャンパスクリーン(台風15号に伴う構内清掃)の実施	
		17,18日	第9回東北ボランティアツアーを開催	
		23日	CCSC(ちばシティサバイバルキャンプ)の実施	
		25日	台風15号被害(鋸南町)に伴うボランティアツアーを実施	
	10月	5日	Welcome Party を開催	
		11日	車椅子講習会を開催	
		19,20日	マンスリーウィークエンドに参加	
		11月	2,3日	千葉大学祭に出展
			9,10日	マンスリーウィークエンドに参加
	12月	23,24日	日本聴覚障害学生高等教育支援シンポジウムに参加	
		30日	縁 Joy 東北に参加	
		3日	ボランティア報告会&カタリベカフェを開催	
		5日	冬季キャンパスクリーン活動に参加	
		7,8日	マンスリーウィークエンドに参加	
	2020年	1月	12日	第56回 Universal Festival 開催
			9日	チャレンジド・サポート体験会を実施
15日			年賀状プロジェクトを実施	
2月		18,19日	マンスリーウィークエンドに参加	
		7日	富岡小学校 三春校 冬のスキー教室を支援	
	15,16日	マンスリーウィークエンドに参加		
29,3月1日	18日	台風等被害(市原市)に伴うボランティアツアーを実施		
		マンスリーウィークエンドに参加		

# ふれあいの環とは

「ふれあいの環」は、学生による学生支援活動(ピアサポート)やボランティア活動をはじめ、さまざまな活動を展開しています。

学生と学生、学生と教職員が相互にふれあいながら、イベントなどを通じて総合的な人間力を涵養することを目的に設立されました。

「ふれあいの環」では活動趣旨の違う6つの団体が活動しています。



## 留学生入寮手伝い

日 程:2019年4月1日～5日 2019年9月19日、20日、25日～27日、30日  
団 体:CISG  
場 所:千葉大学国際交流会館 稲毛区役所  
参加者:留学生約50名

千葉大学に入学する多くの留学生は、稲毛にある国際交流会館(寮)で生活するため、CISGは、国際交流会館に入寮する留学生の支援を行っている。具体的には部屋や共有スペースの説明、住民登録のための区役所への付き添いなどである。また、留学生の希望に合わせて寮や大学の周辺を案内する稲毛ツアーという企画も実施した。

## 新入生サポート会

日 程:2019年4月2日～4日  
団 体:GCAP C-vol  
場 所:千葉大学総合学生支援センター  
参加者:新入生約30名

大学は単位の取得方法や課外活動の参加方法が高校と異なるため、戸惑ってしまう新入生は多く見受けられる。そうした新入生を先輩である学生スタッフがサポートするのが「新入生サポート会」である。毎年4月に学生コミュニティ支援団体GCAPが実施しており、今年も多くの新入生をサポートした。

新入生の相談では履修に関するものが最も多く、次いでサークルやバイトなどの学生生活についてであった。また、留学や資格の取得についての質問も見受けられた。



## 入学式

日 程:2019年4月5日  
団 体:ノートテイク会  
主 催:千葉大学

場 所:千葉ポートアリーナ  
参加者:学生8名

入学式でふれあいの環の団体紹介を行った。また、聴覚障害学生支援団体の千葉大学ノートテイク会は、入学式の字幕通訳を担当した。

## 6団体合同説明会

日 程:2019年4月8日～12日  
団 体:C-vol GCAP ノートテイク会 CISG チャレンジド・サポートみのり  
場 所:千葉大学総合学生支援センター  
参加者:新入生約100名

4月初旬に、ふれあいの環6団体合同で団体説明会を行った。このイベントは主に新入生を対象としており、ふれあいの環の活動を知ってもらうこと、ピアサポート活動に興味を持ってもらうことを目的としている。

団体ごとにブースを設置し、来場した新入生に対して各団体のピアサポーターがそれぞれ説明を行った。



## Welcome Party

日 程:2019年4月12日  
団 体:CISG  
場 所:千葉大学 food court  
参加者:留学生約200名 教職員2名

4月と10月にCISGがWelcome Partyを開催した。Welcome Partyとは、新しく千葉大学へ来た留学生の歓迎会のことです。すでに千葉大学に在籍している学生との交流を促すことを目的としている。

4月、10月ともに15カ国以上の留学生が集まり、来場者も200人を超えた。



## 富岡運動会

日 程:2019年5月24日、25日  
団 体:C-vol  
場 所:福島県富岡町富岡小・中学校  
参加者:学生20名 教職員4名

復興支援を目的に福島県の富岡幼・小・中学校合同運動会の前日準備、当日サポートをした。8回目となる今年は9年ぶり(富岡町では震災後初)に富岡町小中学校の校庭で開催された。

運動会前日は、運動会の準備を行った。また、富岡小中学校の子どもたちと予行練習やよさこいの練習、給食を一緒に食べるなどして交流を深めた。



運動会当日、学生は子どもたちの応援、競技の補助を担当しつつ競技にも参加。教員の方々、富岡町の児童、町民と一丸となり、運動会に取り組んだ。

## 6団体交流会

日 程:2019年6月14日  
団 体:ふれあいの環 6団体  
場 所:千葉大学総合学生支援センター  
参加者:学生28名 職員10名 教員3名

6月にふれあいの環6団体交流会を行なった。このイベントは、団体間のコミュニケーションの促進と、教員・職員との連携の深化を主な目的としている。ふれあいの環所属のピアサポーターのみならず、団体顧問や大学職員など計41名が参加した。

交流会では、各団体が昨年度の活動を報告した。今年度活動を再開したCareer Portは今後の活動について発表した。その後、座談会を実施し、運営体制から活動の広報に関することまで多岐にわたって議論した。



## Universal Festival

日 程:2019年6月27日、12月12日  
団 体:CISG ノートテイク会  
主 催:国際教育センター 後 援:千葉市 千葉市教育委員会 協 賛:千葉ユネスコ協会  
場 所:千葉大学 けやき会館大ホール 参加者:約150名

Universal Festival(以下UF)とは、CISGが年に2回開催している、千葉大学に在籍する留学生たちが自国の歴史・文化などについて発表するイベントである。学内外問わず多くの方々の国際理解を深めることを目的としている。

6月は韓国・ドイツ・インドネシアなど、12月はアメリカ・中国・ロシアなど、合わせて15カ国24名の留学生が発表を行った。またステージ発表のみならず、留学生がそれぞれの母国の料理を振る舞う企画も実施した。6月、12月共に盛況で、留学生が来場者と熱心に話し込む様子も見受けられた。

## ボランティア報告会&カタリベカフェ

日 程:2019年7月1日 場 所:千葉大学総合学生支援センター  
団 体:C-vol GCAP 参加者:学生15名 教職員1名

C-volとGCAPが合同で、「ボランティア報告会&カタリベカフェ」を開催した。

ボランティア報告会は、ボランティアに興味のある学生を対象としたイベントで、経験談を聞いてボランティアへの意欲を高めてもらうこと、未経験者のボランティアに対する不安を解消することが主な目的である。同時開催したカタリベカフェは、一つのテーマについて参加者が自由に語り合う企画である。今回は「ボランティアとは?」というテーマで実施した。

## セタウィーク

日 程:2019年7月2日~8日  
団 体:C-vol  
場 所:千葉大学総合学生支援センター  
参加者:約200名

セタウィークとは、総合学生支援センター1階の一角にセタの笹と短冊を設置し、センター利用者が自由に短冊の記入・飾り付けをする企画である。

実施期間を通して200枚を超える短冊が飾りつけられた。飾られた短冊に書かれた願い事は、勉学に関するものから恋愛や健康に関するものまでさまざまであった。



## マンスリーウィークエンド

日 程:毎月土、日曜日  
団 体:C-vol  
場 所:千葉市少年自然の家

C-volが千葉市少年自然の家でのボランティアを継続的に行っている。主な活動は、毎月末に行われる家族キャンプ「マンスリーウィークエンド」のお手伝いである。

マンスリーウィークエンドとは、焼き芋体験など季節を感じるプログラムを通して、家族で野外活動を体験するイベントである。学生はプログラムの補助や、レクリエーションなどを担当している。



## 年賀状・暑中見舞いプロジェクト

日 程:7月下旬、1月上旬  
団 体:ふれあいの環 6団体

日頃からお世話になっている教員・職員の方々に向け、7月には暑中見舞いを、1月には年賀状を製作した。

年賀状・暑中見舞いには挨拶や感謝の文の記載に加え、「今年の目標」や「今夏挑戦すること」などのお題を設定し、学生の回答を集めて掲載。教員・職員の方々に学生の新たな一面を知っていただけるように、また学生にとっても良い目標設定の機会になるように工夫をした。

完成したものは、教員・職員の方々に直接訪ねて手渡しした。



## キャンパスクリーン(台風15号に伴う構内清掃)

日 程:2019年9月11日  
団 体:C-vol  
場 所:千葉大学西千葉キャンパス  
参加者:学生5名

キャンパスクリーン活動とは、千葉大学が主催する構内美化活動である。例年、6月に草むしり、12月に落ち葉掃きが行われる。ふれあいの学生も、大学職員と共同で総合学生支援センター周辺の清掃を担当した。

加えて今年は、9月初旬に関東を襲った台風15号によって千葉大学もキャンパス内が荒らされたため、緊急の構内清掃活動が実施された。ふれあいの学生も参加し、散乱した落ち葉や枝などの回収を行った。



## バリアフリーマップの作成

団 体:チャレンジ・サポートみのり  
場 所:千葉大学亥鼻キャンパス 松戸キャンパス  
参加者:学生約20名

チャレンジ・サポートみのりでは、身体に障害を持ち、車椅子などを利用する学生に対して、学びやすい環境を整えることを目的とした活動を行っている。

その活動の一つとして、車椅子などを使う学生の学内施設の利用と構内移動がよりスムーズになるよう、スロープやエレベーターの位置、自動ドアの有無、多目的トイレの場所などをまとめた「バリアフリーマップ」を作成した。

西千葉キャンパスに加え、亥鼻、松戸キャンパスでも調査を行った。



## 東北ボランティアツアー

日 程:2019年9月17日、18日  
協 力:NPO法人『おもいでかえる』

場 所:宮城県仙台市  
参加者:学生8名 教職員2名

今年で8年目となる東北ボランティアツアーを宮城県仙台市にて実施した。このツアーでは、ボランティア初心者の学生を対象として、東日本大震災の復興支援を行っている。

1日目は、仙台市の荒浜地区の海辺の図書館に訪れ、震災当時の様子やこれからの荒浜地区の復興について館長の庄子 隆弘(しょうじたかひろ)さん、専属カメラマンの佐藤 豊(さとう ゆたか)さんとともに意見交換をした。そして、荒浜地区の町歩きをしながら清掃活動をした。



2日目は、NPO法人『おもいでかえる』の活動に参加した。『おもいでかえる』は、東日本大震災以降、瓦礫の中から見つかった写真や思い出の品を持ち主の元へ返すために立ち上げられた団体である。私たちは、西日本豪雨で被災した方の写真を洗浄する活動を行った。

その後、1日目に訪れた荒浜地区に移動し、震災遺構として一般開放されている旧荒浜小学校を見学した。震災当時は320人の住民が避難し、津波が2階の高さまで押し寄せた旧荒浜小学校には当時の校舎がそのまま保存されており、震災の恐ろしさを実感することができた。

## CCSC(ちばシティサバイバルキャンプ)

日 程:2019年9月23日 後 援:千葉県教育委員会 千葉市教育委員会 日本キャンプ協会  
団 体:C-vol 場 所:千葉大学第一体育館・グラウンド  
共 催:千葉県キャンプ協会 参加者:小学生約50名 学生20名 教職員1名

C-volが千葉市内の小学生を対象にしたイベント、「CCSC(ちばシティサバイバルキャンプ)」を開催した。CCSCは、災害時に役立つ知識を、体験プログラムを通して楽しく学ぶイベントである。



## 台風15号の被害(鋸南町)に伴うボランティアツアー

日 程:2019年9月25日

場 所:千葉県鋸南町

団 体:C-vol

参加者:学生6名、教職員3名

9月に発生した台風15号は、関東を中心に甚大な被害をもたらした。千葉県は最も被害の大きい地域であり、住宅の被害に加え、停電や断水も相次いだ。これを受けふれあいの環では、千葉県鋸南町において日帰りのボランティア活動を実施した。

### (1)災害ボランティアセンターでの活動

ボランティアセンターでは、被害状況の調査や作業依頼の受付など、多岐にわたる業務を行っているが、人手が足らず、センターの運営にもボランティアを要している状況であった。学生数名がセンター運営のボランティアを行い、ボランティア志願者の受付や、センターの電話対応、車の誘導などを担当した。



### (2)民家屋外での活動

このボランティアツアーでは2軒の民家で活動した。1軒目の民家は、台風により屋根の瓦が落ちてしまい、さらに大きな看板が家の窓に飛ばされてきていた。ボランティア活動として、庭に散らばった瓦に回収し、飛ばされてきた看板を撤去した。センターへのボランティア依頼も、自宅の屋根の被害に関するものが大半とのことであった。

### (3)民家屋内での活動

2軒目の民家は、瓦が飛ばされたことで雨が吹き込み、家具や畳が濡れてしまっていた。濡れたものは破棄するほかないため、搬出してトラックで集積場に運搬した。鋸南町にはご高齢の家主の方が多く、こうした作業を自力で行うのは難しいため、ボランティアに頼らざるを得ない状況であった。



### (4)瓦礫集積所

運び出した家具や畳は、トラックに載せて瓦礫集積所に運搬した。集積所では、瓦・不燃物・可燃物・金属など、廃棄物を分別して集めている。分別された瓦礫やゴミはそれぞれが山のように詰まれている、台風15号の被害の大きさを物語っていた。

## 車椅子講習会

日 程:2019年10月11日  
団 体:チャレンジド・サポートみのり  
場 所:千葉大学松韻会館  
参加者:学生、教職員計約25名

チャレンジド・サポートみのりが、車椅子や身体障害の啓発を目的として講習会を開催した。講師として、千葉県立保険医療大学 作業療法士の吉野智佳子先生を迎え、千葉大学の学生と教職員合わせて約25名が参加した。

講習会の前半は、臨床視点からの身体障害についての基礎知識、車椅子利用者への接し方、車椅子の取り扱い方などに関する講義が行われた。

後半は、実際に車椅子に乗る・押すなどの体験、さらに体圧分散クッションや体圧分布測定器など、車椅子に関する専門機器の体験が実施された。



## 大学祭

日 程:2019年11月2日、3日  
団 体:C-vol チャレンジド・サポートみのり  
場 所:千葉大学総合学生支援センター  
参加者:約200名

ふれあいの環の活動を紹介するとともに、東日本大震災の風化防止に貢献するため、大学祭に出展した。『つなげよう支援のわ』と題して、総合学生支援センターで活動展示、復興応援物産展を行った。

### ○復興応援物産展

災害記憶の風化防止のため、被災地から発信されている名産品を販売した。岩手県南三陸町の「ちんあなごの傘持ち手カバー」や、「ままだおる(福島)」や「ずんだ餅(宮城)」などの東北3県の銘菓、昨年7月の西日本豪雨で被害を受けた広島から「因島八潮ゼリー」などを取り寄せた。



### ○活動展示

夏に実施した東北ボランティアツアー、9月に実施した千葉県内での災害ボランティアについて、活動報告展示を行った。また、千葉大学における学生のボランティア参加方法についても紹介した。加えて、チャレンジド・サポートみのりが作成したバリアフリーマップなど、ふれあいの環6団体の活動についても展示を行った。

## 日本聴覚障害学生高等教育支援シンポジウム

日 程:2019年11月23日、24日

団 体:ノートテイク会

主 催:日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク

場 所:大阪大学コンペティションセンター

参加者:学生6名 教職員1名

千葉大学ノートテイク会が第14回日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワークの主催するシンポジウムに参加した。このシンポジウムは、全国の大学における聴覚障害学生支援の実践に関する情報を交換し、今後の聴覚障害学生支援体制を発展させることを主な目的とするものである。

初日は、聴覚障害学生や支援学生、コーディネーターなどが聴覚障害学生支援のあり方について話し合うワークショップに参加した。2日目は各大学がそれぞれの支援隊背を発表するセッションが開催され、ノートテイク会もポスター発表を行った。

## 「縁 joy・東北」2019

日 程:2019年11月31日

団 体:C-vol

主 催:「縁 joy・東北」2019実行委員会

協 力:中央労働金庫、千葉県社会福祉協議会

場 所:千葉市Qiball(きぼーる) 1Fアトリウム

参加者:学生14名

C-volが東日本大震災被災者支援・復興応援イベントである「縁 joy・東北」2019に参加した。7回目の参加となる今年は、起き上がり小法師の絵付け体験、東北クイズラリー、東北ボランティアツアーでの活動の展示を行った。また、多くのボランティア団体が復興支援のためにこのイベントに参加していたため、復興支援活動などについてさまざまな意見や情報を交換することができた。



## 富岡小学校 三春校 冬のスキー教室

日 程:2020年2月7日

団 体:C-vol

場 所:福島県『あだたら高原スキー場』

参加者:学生3名、教職員2名

ふれあいの環の学生が、富岡小学校三春校のスキー教室にボランティアとして参加した。今年で9回目の参加となる。学生は子どもたちに付き添い、スキー指導の補助を行った。



## 台風15号等の被害(市原市)に伴うボランティアツアー

日 程:2020年2月18日

団 体:C-vol

場 所:市原市「里山ファーム」

参加者:学生8名、教職員5名

9月の台風と10月の豪雨による風水害の被害にあった市原市の里山ファームにおいて、ふれあいの環の学生がボランティア活動を行った。

主な活動としては、瓦礫の撤去や倒壊寸前のヤギ小屋の解体、ビニールハウスの修復などであった。



